

共同エンジ

「人材＋ICT」

オーダーメイドで提供

Challenge

チャレンジ

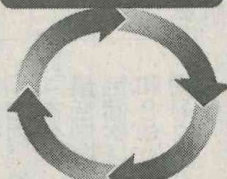
DX（デジタルトランスフォーメーション）を建設現場へ浸透させるには、新たなテクノロジーを使いこなし、ビジネスモデルの変革まで結び付ける人材が欠かせない。しかし、ITに長（た）けた人材の不足が障壁となっており、ICT（情報通信技術）活用工事などに一歩を踏み出せない企業が多いのが現実だ。技術者派遣と受託事業を手掛ける共同エンジニアリング（千代田区）はこの点に着目し、現場の課題や顧客の要望に合わせた「人材＋ICT」をオーダーメイドで提供するサービスを始めた。

具体的には、AR（拡張現実）技術を活用したサービスなどを展開するグループ企業のアウトソーシングテクノロジー（千代田区）と共同開発したソフトとハードを軸に、急激

ICT推進事業の磯谷泰由事業副本部長は「建設業は入職者が少ない上に、平均年齢が非常に高く、3分の1が55歳以上という構成だ。向こう10年で技術者不足はより顕著になる。ベテランの熟練の技や豊富な知見を代替できるテクノロジーと、そのテクノロジーを駆使して経験の少なさをカバーできる若い人材をセットで提供すれば、課題解決に貢献できる」と狙いを語る。

同社は今後、従来の製品販売に加え「ソリューションの開発、人的リソースを補える『＋αの付加価値』提供」で建設業のDX推進を後押ししていく方針だ。

人材／サービス



ソフトウェア開発

ハードウェア開発

人材と要請に応じたICT技術をセットで派遣・提供